

教科目標

- (1) 家族・家庭の機能についての理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域の関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

評価の観点及び趣旨

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境について理會しているとともに、それらに係わる技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

年間指導計画・評価計画

月	単元(題材)名 ※ [] 内数字は配當時数	単元(題材)の目標	観点ごとの評価場面 評価方法(評価資料)
4 5 6	幼児の生活と家族 【7.5】	①・幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・幼児のとしての遊びの意義や幼児との関わりについて理解している。 ②幼児との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	定期調査 プリント ワークノート
7		③家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業観察 ワークノート
9 10 11	幼児の喜ぶおもちゃ製作 【6】	①課題をもって幼児の喜ぶおもちゃをデザインし、作ることができる。 ②製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切に出来る。	定期調査 作品 ワークノート 授業観察
12 1	家族・家庭や地域との関わり 【4】	①・家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。	ワークノート 授業観察 プリント

2		②家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	
3		③家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	ワークノート プリント

定期テスト範囲（予定）

1 学期期末考査	2 学期中間考査	2 学期期末考査	学年末考査
・ 幼児の生活と家族		・ 幼児の生活と家族 ・ パペット製作について	

学習上のアドバイス

授業について

- ① 忘れ物をしない。特に製作中の作品で使うパーツ（各自準備分）を忘れると1時間無駄に過ごすこととなります。また製作中の作品は持ち帰り厳禁です。誤って家に持ち帰らないようにくれぐれも注意しましょう。
- ② 提出期日を守る。作品、ノート、プリントの未提出は評価に多大な影響があります。
- ③ ノートをしっかりとる。授業中に先生が言った大切なことをメモする。
- ④ 出来るだけ休まない。2週間に1回しか授業がないので1回の授業の重みが大きくなります。なるべく休まないようにしましょう。

家庭学習のアドバイス

- ① 家庭科はまさにみなさんの家庭での日常を学ぶ教科です。日々を大切に過ごしましょう。
- ② 欠席した場合はその日に行ったことを友だちに聞いて自習（ノート記入など）しましょう。